

# ふくしの森ステーションみすぎだいたい

令和5年3月号No.22

ふくしの森ステーションは“地域の何でも相談窓口”です。

- ・社会福祉協議会職員のコミュニティソーシャルワーカーが活動する地域の拠点です。
- ・地域福祉活動を支援します。また、ボランティア活動に関する相談にもお答えします。



日頃から悩んでいること、不安に感じていることがありましたらご連絡ください。また、地域のお困りごとの相談や、相談内容によっては適切な相談機関をご紹介しますこともできます。



## コンフォール 21 つどい場の活動のご紹介♪



美杉台にある“コンフォール 21 つどい場”では、感染対策を徹底して毎週水曜日に活動を続けています。1時間体操を行い、その後お喋りをしながら和気あいあいと皆さんで楽しんでいます。

♥ 体操をしている様子です♪

♥ 体操の後はこんな話で盛り上がっていました♪



### 【代表の田中さんにお話を伺いました🔪】

“コンフォール 21 つどい場”は2004年からイベントと体操教室を結び付けた形で始めた取り組みです。コロナ以前はみんなでお花見に行ったりしていました。今は飲食はできないけれどこうしてみんなで集まって体操をして、他愛のないお喋りができることが嬉しいです。



社会福祉法人飯能市社会福祉協議会 ふくしの森ステーションみすぎだいたい  
(美杉台地区行政センター内)

原則 火～金曜日(祝祭日を除く) 9:15～16:15 在室

TEL 070-7792-2426 FAX 050-3156-2236

Eメール [station-misugidai@hannosyakyo.or.jp](mailto:station-misugidai@hannosyakyo.or.jp)

※担当が不在の場合、電話は飯能市社会福祉協議会事務局(総合福祉センター内)へ転送されます。

# 地域ふくし発見!

飯能市内の地域福祉に関する素敵な活動や取組みをふくしの森ステーションのCSW(コミュニティソーシャルワーカー)が取材・発信していきます。

## 居場所がないなら自分たちでつくろう!

教え子がひきこもりで悩んでいたことがきっかけで、同じような悩みを抱えている人たちが気軽に行ける居場所はどこかにあるか、探したけれども見つからない……。

気持ちを少しでも軽くできる、誰でも参加できる居場所。お茶やコーヒーを飲みながら、重い気持ちを少しでも軽くできる、そんな居場所が無いなら自分たちでつくろう!と藤島代表含め3名で立ち上げ。スタッフの顔合わせからわずか5か月で法人を設立しました。

## キーワードは・・・【対話】

おいでよハウスで一番大事にしているコンセプトは「対話を大事にする」ことです。

オープンしてから約半年で、利用された方は約150名(見学者も含む)になりますが、利用された方からは「話しをすることで抱えていたものが楽になりました」と言われます。ここでは、指導や評価はせず、お互いの声を尊重する対話の場を大切にしたいと考えています。

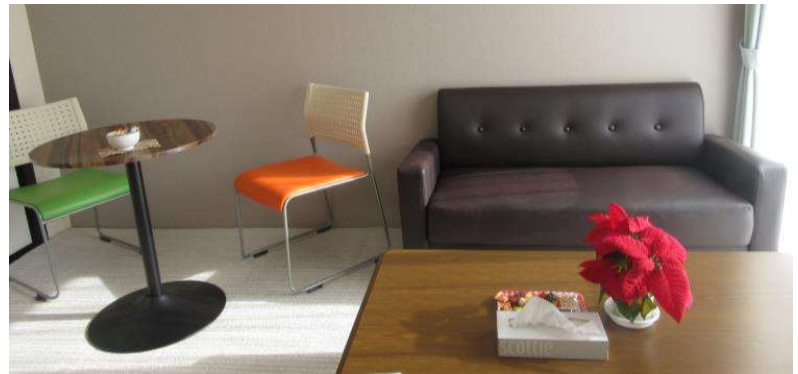


# 「おいでよハウス」

取材レポート



今回ご紹介するのは、2022年6月にオープンしたどなたでも大歓迎の居場所「おいでよハウス」です。代表の藤島氏にお話しをお聞きしました。



代表：藤島 薫氏

フリースペース以外にも子ども・若者プログラムや対話勉強会も行いました。

詳細は下記、HPにてご確認ください!



問い合わせ：(一社) オープンコミュニティおいでよハウス

飯能市稲荷町9-15 フォーブル岩沢102

メール：[oideyohouse2022@gmail.com](mailto:oideyohouse2022@gmail.com)

ホームページ：<https://open-community-oideyo-house.com>

<おいでよフリースペース>

【利用料】500円

【利用日】毎週火曜日・金曜日 10時～16時、第1・3金曜日 18時～21時

※予約は必要ありませんが、利用定員12名としています。